

コウノトリ文化館だより



ホームページやSNSでリアルタイムの情報を発信しています。

HP

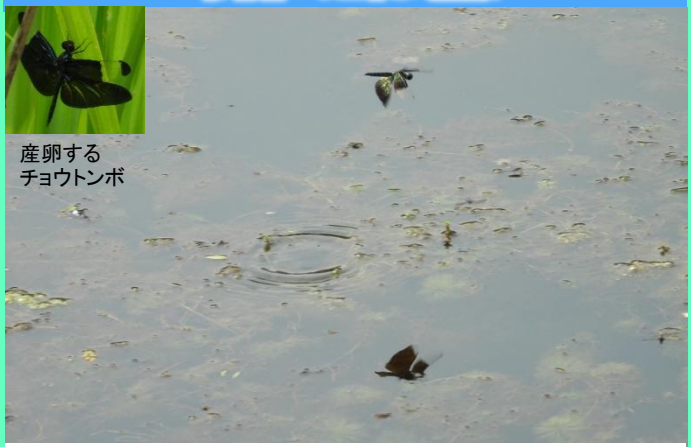
   

7月のコウノトリ



7月には、全国のほとんどのヒナが巣立ちます。巣立ったばかりの幼鳥達が、巣塔の近くで遊んでいます。上手に餌が取れて、飛べるようになるとそれぞれのタイミングで親元から旅立ちます。

7月の郷公園



産卵する
チョウトンボ

園内で多くのトンボが飛び交い始めます。東エリアの大きな池では、チョウトンボやショウジョウトンボ、オオシオカラトンボなど。産卵場面にも出会えます。観察した後は逃がしてあげましょう。

とよおかの生きもの 7月



オイカワ: 夏、オイカワは鮮やかな婚姻色になります。豊岡市内では円山川や竹野川、その支流の小川などにいます。

夏本番、7月になると暑い日が多くなります。セミや夏鳥など、夏にしか見られない生き物が出てきたり、体色など姿が変わる生き物もいます。



ヤイロチョウ: 八つの色を持つほど美しいためこの名がつけました。夏鳥として飞来し、「ホーヘン ホーヘン」とさえずります。



ヒメハルゼミ: シイやカシなど照葉樹林に棲んでいます。豊岡市では、城崎や気比などに生息地がある希少なセミです。



リョウブ: 尾根筋を中心に至る所にある落葉小高木です。花が少ない時期に咲くので、虫たちのオアシスになっています。



オオムラサキホコリ: 高さ2cmを超え、目視で発見できる代表的な変形菌です。春～秋に不朽度の低い腐木に発生します。



トノサマガエル: 田んぼ周辺でよく見られます。指先は爪状になっています。カエルの中でもジャンプ力に優れます。

7月の行事

キノコ・粘菌観察会

7月5日(日) 9時30分～

参加費:無料 ※要事前申込

昆虫観察会

7月12日(日) 9時30分～

参加費:無料 ※要事前申込

田んぼの学校～小川の生きもの探し～

7月19日(日) 9時30分～

参加費:子ども100円 当日参加可能

夏休み昆虫採集

7月26日(日) 9時30分～

参加費:無料 ※要事前申込

☆企画展☆

福井大嗣 蝶の世界 開催中 6/16～7/15

6月のトピックス

ビオトープをつくろう 5/31

参加者 9名 スタッフ 2名

今年から始まった新たなイベント「ビオトープをつくろう」を開催しました。作業前、みんなでビオトープの生き物を確認しました。



今回の作業は水面を覆うカササゲを抜き通路に積む作業です。短時間でしたが、楽しく作業ができました。

キノコ粘菌観察会 6/7

参加者 14名 スタッフ 2名



あいにくの悪天候で、学習室での説明を中心にしましたが、説明後、せっかくなので希望者で1時間ほどの野外観察を行いました。

ホソエノスカホコリやムラサキホコリの仲間など、20種類以上のキノコや粘菌が見つかりました。その後、学習室に戻り、3時まで図鑑を見たり実顕顕微鏡で確認したりしました。



ホタルのゆうべ 6/12

参加者 312名

今年は発生時期が早く、発生ピークは過ぎていたようですが、園内のいつもの箇所で見ることが出来ました。

菜種ガラを束ねたものにホタルを止まらせて観察しました。文化館前まで帰って来て、観察後、逃がしました。



田んぼの学校 6/21

参加者44名 スタッフ8名

6月のテーマは初夏のビオトープ。モリアオガエルの卵塊や大ききトノサマガエルなど、梅雨に活発になる生き物が見られました。



水生昆虫も多く、ゲンゴロウ類は5種類が見つかりました。子どもたちにはアカハライモリが人気でした。計25種類の生き物が見つかりました。

豊岡市立コウノトリ文化館 (指定管理:NPO法人コウノトリ市民研究所)

開館時間/9:00～17:00 休館日/月曜日(祝日にあたるときはその翌日) 入館無料(環境協力金100円・任意)

〒668-0814 豊岡市祥雲寺127番地 TEL:0796-23-7750 FAX:0796-23-8005 <https://kounotoribunkakan.com>

コウノトリ文化館は兵庫県立コウノトリの郷公園内にある、豊岡市立の見学施設です。